

第854回宮城県教育委員会定例会日程

日 時：平成26年6月10日（火）午後1時30分から

場 所：県行政庁舎 16階 教育委員会会議室

1 出席点呼

2 開会宣言

3 第853回教育委員会会議録の承認について

4 第854回教育委員会会議録署名委員の指名

5 教育長報告

- (1) 平成27年度に小学校等で使用する教科用図書採択基準等について (義務教育課)
- (2) 「宮城県公立高校入学試験」に対する請願への対応について (高校教育課)

6 専決処分報告

- (1) 第348回宮城県議会議案に対する意見について (総務課)
- (2) 教育功績者表彰について (総務課)
- (3) 退職手当の支給制限処分について (福利課)

7 議 事

- 第1号議案 職員の人事について (教職員課)
- 第2号議案 高等学校入学者選抜審議会委員の人事について (高校教育課)
- 第3号議案 宮城県図書館協議会委員の人事について (生涯学習課)
- 第4号議案 宮城県美術館協議会委員の人事について (生涯学習課)

8 課長報告等

- (1) 平成27年度県立中学校入学者選抜方針及び概要について (高校教育課)
- (2) 平成26年3月卒業者の就職内定状況について (高校教育課)
- (3) 公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について (施設整備課)

9 資料（配付のみ）

- (1) 教育庁関連情報一覧について (総務課)

10 次回教育委員会の開催日程について

11 閉会宣言

平成２７年度に小学校等で使用する教科用図書採択基準等について

市町村立，国立及び私立の小学校において平成２７年度に使用する教科用図書，特別支援学校及び特別支援学級において，学校教育法附則第９条の規定に基づく平成２７年度に使用する教科用図書について，その採択の適正な実施を図るため，平成２７年度使用教科用図書採択基準等を定め，市町村教育委員会及び採択地区協議会等の行う採択に関する事務に関し，適切な指導，助言等に取り組んでいくこととする。

１ 平成２７年度使用教科用図書採択基準等

- (１) 別紙「平成２７年度使用教科用図書（小学校）採択基準」のとおり
別冊「平成２７年度使用教科用図書（小学校）選定資料」
別冊「平成２７年度使用教科用図書（小学校）選定資料 社会科（別冊）」
- (２) 別紙「平成２７年度使用学校教育法附則第９条の規定による教科用図書（一般図書）採択基準」のとおり
別冊「平成２７年度使用学校教育法附則第９条の規定による教科用図書（一般図書）選定資料」

２ 宮城県教科用図書選定審議会関係

(１) 諮問事項

- １ 市町村立，国立及び私立の小学校において，平成２７年度から使用する教科用図書の採択基準及び選定資料並びにその他指導助言等に関する事項
- ２ 特別支援学校及び特別支援学級において，平成２７年度に使用する教科用図書（学校教育法（昭和２２年法律第２６号）附則第９条の規定に基づく教科用図書）の採択基準及び選定資料並びにその他指導助言等に関する事項

(２) 経緯

- ・平成２６年４月２３日 宮城県教科用図書選定審議会への諮問
- ・ 〃 ６月 ３日 同審議会から答申
- ・ 〃 ６月 ５日 市町村教育委員会及び採択地区協議会，県立特別支援学校等に通知

平成26年6月3日

宮城県教育委員会 殿

宮城県教科用図書選定審議会

委員長

小泉 祥一



平成27年度使用教科用図書の採択について（答申）

平成26年4月23日付け義第55号で貴教育委員会から諮問を受けた標記の件について、本審議会は、慎重に審議した結果、下記のとおり答申します。

記

- 1 市町村立、国立及び私立の小学校において、平成27年度に使用する教科用図書の採択基準及び選定資料並びにその他指導助言等に関する事項
別添「平成27年度使用教科用図書（小学校）採択基準」及び「平成27年度使用教科用図書（小学校）選定資料」のとおり
- 2 特別支援学校及び特別支援学級において、平成27年度に使用する教科用図書（学校教育法（昭和22年法律第26号）附則第9条の規定に基づく教科用図書）の採択基準及び選定資料並びにその他指導助言等に関する事項
別添「平成27年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）採択基準」及び「平成27年度使用学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）選定資料」のとおり

平成27年度使用教科用図書（小学校）採択基準

1 内容に関すること

- (1) 学習指導要領に示されている教科の目標達成のために内容が工夫されているか。
- (2) 県教育委員会の「学校教育の方針と重点」に沿っているか。
- (3) 児童の心身の発達段階を考慮し、学習意欲を高めるように工夫されているか。
- (4) 内容がよく精選され、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されているか。
- (5) 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されているか。

2 組織と配列に関すること

- (1) 内容が組織的、系統的に配列され、学習の効果があがるよう配慮されているか。
- (2) 教科の目標を踏まえて、各章、各節のねらいが明確で内容のまとまりがあるか。
- (3) 基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進めるための配慮がなされているか。
- (4) 内容の分量や区分が、各学校の年間指導計画に広く適合できるか。
- (5) 教材の配列が、児童の生活や各地域の実態に広く適合できるか。

3 学習と指導に関すること

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成を進められるよう配慮がなされているか。
- (2) 児童の経験や興味を大切にし、学習の動機付けや自主的な学習が進められるよう配慮されているか。
- (3) 児童の多様な個性や能力に広く対応できるか。
- (4) 他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されているか。
- (5) 学習の手引き、挿絵、図表、写真等は適切に配置されているか。

4 表現と体裁等に関すること

- (1) 表記、表現が学年に応じて適切であるか。
- (2) 児童が親しみや魅力を感じるよう配慮されているか。
- (3) 活字の大きさや字体は適切で、色彩、印刷は鮮明で見やすいか。
- (4) 図表等の大きさや配置、レイアウトやバランスが適切であるか。
- (5) 製本は体裁がよく堅ろうであり、環境への配慮があるか。

平成27年度使用

学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）採択基準
【特別支援学校及び特別支援学級】

特別支援学校及び小・中学校の特別支援学級の児童生徒が使用する学校教育法附則第9条の規定による教科用図書（一般図書）の採択は、この基準によって行うものとする。

第1 教科用図書の採択に当たっては、教育基本法や学校教育法が示す教育の目的や目標、学習指導要領の趣旨を踏まえ、その内容を十分に調査研究の上、各採択権者の権限と責任の下、公正かつ適切な採択をするものとする。

第2 教科用図書の選定に当たって考慮すべき事項は、概ね次のとおりとする。

1 記述内容に関すること

- (1) 学習指導要領に示されている教科等の目標を的確に反映しているか。
- (2) 県教育委員会の「学校教育の方針と重点」の趣旨の実現に対応しているか。
- (3) 社会適応能力の向上を図り、自立や社会参加を促す配慮がなされているか。
- (4) 様々な体験活動を促し、自己を生かせる生き方や進路を考えられるものか。
- (5) 内容や資料に偏りがなく、資料の出所、出典が明示されているか。

2 組織と配列に関すること

- (1) 内容が組織的、系統的に配列され、学習の効果が上がるように配慮されているか。
- (2) 分量と区分が適切であるか。
- (3) 季節や行事等との関連が考慮されているか。
- (4) 児童生徒の生活や地域の実態に広く対応できるか。

3 学習と指導に関すること

- (1) 児童生徒の障害の状態や発達の段階、特性等に応じているか。
- (2) 基礎的能力を養ったり、発展的な学習に取り組んだりできるように配慮されているか。
- (3) 興味や関心を喚起するように工夫されているか。
- (4) 他の教育活動との関連が考慮されているか。
- (5) 内容がより理解できるような挿絵、図表、写真等が示されているか。

4 表現と体裁等に関すること

- (1) 児童生徒が親しみや魅力を感じ、多様な感覚を活用するよう配慮されているか。
- (2) 表記、表現が適切であるか。
- (3) 活字の大きさや字形は適切で、色彩、印刷は鮮明で見やすいか。
- (4) 図表等の大きさや配置、レイアウトやバランスが適切であるか。
- (5) 製本は体裁がよく堅ろうであり、安全や環境への配慮がなされているか。



宮教組発第 21 号
2014年5月20日

宮城県教育委員会
教育委員長 庄子 晃子殿
教育長 高橋 仁殿

仙台市青葉区柏木1-2-45
宮城県教職員組合

執行委員長 瀬成田 実

宮城県高等学校障害児学校教職員組合

執行委員長 高橋 正行



「宮城県公立高校入学試験」に対する請願

【請願の趣旨】

日頃より宮城県教職員組合の諸活動に対してご理解と誠意あるご対応をいただいていることに感謝申し上げます。

東日本大震災から4年目を迎えましたが、被災した学校は、間借り教室や仮設校舎での不自由な学習活動を強いられています。教育施設設備の復旧・教育条件整備も遅れており、子どもたちの生活権・学習権が十分に保障されているとは言い難い状況にあります。

このような状況下で、教職員は、日々できるかぎりの努力をしております。

2013年度から始まった新入試制度については、これまでも「請願」「要請」をしてきましたが、あらためて問題点を整理し、再度請願いたします。

- ① 2013年度の前期選抜では5000人を超える生徒、2014年度も4000人を超える生徒が不合格となりました。しなくてもいい不合格の体験をさせられ、精神的に立ち直ることのできない生徒や志望校を変更する等様々な問題が生じています。
- ② 2・3月に実施した「入試110番」では4日間で昨年の3倍の67件の相談が寄せられ、そのうち前期選抜に関する不満や要望が40件を数えました。
- ③ 宮教組が3月に実施した中学校教師からのアンケートでも(84%)が、「入試制度に問題あり」と答えています。

その中で「前期選抜試験は必要ない」と考えている記述が数多く見られてきました。

(別紙 アンケート結果参照)

よって、私たちは、あらためて以下を請願します。

【請願事項】

- 1 公立高校入学選抜試験は、1回(2次募集は残す)の実施にすること。

第348回宮城県議会議案に対する意見について

平成26年6月宮城県議会に提案される下記の予算議案及び予算外議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第29条の規定により、知事から意見を求められたので、教育長に対する事務の委任等に関する規則（昭和31年宮城県教育委員会規則第12号）第3条第1項の規定により平成26年6月4日専決処分し、異議のない旨回答した。よって同条第2項の規定により報告する。

記

予算議案

- ・平成26年度宮城県一般会計補正予算

予算外議案

- ・県立学校条例の一部を改正する条例
- ・高等学校の定時制課程及び通信制課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例
- ・工事請負変更契約の締結について（宮城県登米総合産業高等学校（仮称）校舎等新築工事（その1））
- ・工事請負変更契約の締結について（宮城県登米総合産業高等学校（仮称）校舎等新築工事（その2））

平成26年6月10日提出

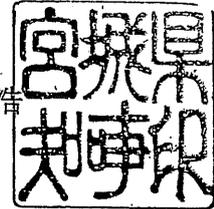
宮城県教育委員会教育長 高 橋 仁



財 第 4 2 号
平成 2 6 年 6 月 3 日

宮城県教育委員会委員長 殿

宮城県知事 村 井 嘉 浩



第 3 4 8 回宮城県議会議案について (照会)

このことについて、下記議案を提出したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (昭和 3 1 年法律第 1 6 2 号) 第 2 9 条の規定により、貴委員会の意見を求めます。

記

- 1 予算議案
平成 2 6 年度宮城県一般会計補正予算
- 2 予算外議案
県立学校条例の一部を改正する条例
高等学校の定時制課程及び通信制課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例
工事請負変更契約の締結について (宮城県登米総合産業高等学校 (仮称) 校舎等新築工事 (その 1))
工事請負変更契約の締結について (宮城県登米総合産業高等学校 (仮称) 校舎等新築工事 (その 2))



第348回宮城県議会（定例会）提出予算議案の概要【教育委員会関係分】
～平成26年度 6月補正予算の概要～

1 補正予算の概要

単位：千円

	平成25年度	平成26年度			比較	
	6月現計予算額[A]	現計予算額[B]	6月補正額[C]	計[B+C]=[D]	[D-A]	[D/A]
教育委員会分	208,573,005	212,427,844	12,909	212,440,753	3,867,748	101.9%

2 事業の概要

単位：千円

区分	No.	事業概要等	補正額	財源
その他	1	防災拠点としての学校づくり事業	12,909	繰入 10,327
		避難所として指定された県立学校へ、防災備蓄倉庫を整備するための経費		一財 2,582

財源	繰入金	10,327	単位：千円
	一般財源	2,582	
	<hr/>	12,909	

第348回宮城県議会(定例会)提出予算外議案の概要【教育委員会分】

議第 198 号議案

県立学校条例の一部を改正する条例

通信制課程の受講料の改定及び東日本大震災により被害を受けた者に係る入学金等の免除の期間を延長するため、所要の改正を行おうとするもの
施行 公布の日等
所管 高校教育課

○主な内容

- 1 通信制課程の受講料について、就学支援金への制度変更に伴い生徒負担が生じるため、その負担を解消するよう就学支援金と同額に変更
- 2 東日本大震災により被害を受けた者に係る入学金等の免除の期間を平成27年度まで延長

議第 199 号議案

高等学校の定時制課程及び通信制課程修学資金貸付条例の一部を改正する条例

低所得者等に対する教育費負担軽減のための支援を拡充するため、所要の改正を行おうとするもの
施行 公布の日
所管 高校教育課

○主な内容

- 1 高等学校等育英奨学資金貸付条例による貸付を受けている者を貸付対象外とする規定の削除
 - 2 貸付金の償還期間を貸付期間の2倍に相当する期間に延長
 - 3 貸付金の償還猶予対象に中等教育学校後期課程等を追加
- 適用 平成26年4月1日

議第 213 号議案

工事請負変更契約の締結について（宮城県登米総合産業
高等学校（仮称）校舎等新築工事（その1））

請 負 金 額 1,476,360,000 円 → 1,511,989,200 円
契約の相手方 渡辺土建・浅野工務店特定建設工事共同
企業体
所管 施設整備課

- 議 決 日 平成25年12月13日 議第311号議案
- 変 更 日 平成26年2月27日提出 報告第83号
- 変更の理由 設計単価の変更による請負金額の変更

議第 214 号議案

工事請負変更契約の締結について（宮城県登米総合産業
高等学校（仮称）校舎等新築工事（その2））

請 負 金 額 1,311,120,000 円 → 1,340,600,760 円
契約の相手方 太田組・只野組建設工事共同企業体
所管 施設整備課

- 議 決 日 平成25年12月13日 議第312号議案
- 変 更 日 平成26年2月27日提出 報告第84号
- 変更の理由 設計単価の変更による請負金額の変更

平成２７年度県立中学校入学者選抜方針及び概要について

Ⅰ 入学者選抜方針

宮城県立中学校における入学者選抜は、中学校及び小学校の教育の目的の実現及び健全な教育の推進を期し、公正かつ適正な選抜方法と選抜尺度により厳正に行うものとする。

１ 基本原則

- (1) 県立中学校長は、その教育を受けるに足る多様な能力と適性等を評価し、選抜するものとする。
- (2) 出願事務及び選抜事務の厳正を期するため、小学校にあっては調査書等作成のための委員会を、県立中学校にあっては選抜のための委員会を設置するものとする。

２ 選抜方法

- (1) 入学者の選抜に当たって、県立中学校長は、調査書及び適性検査の結果を資料として、出願者の能力や適性等を総合的に判断するものとする。
- (2) 適性検査
 - ア 検査は、総合問題、作文及び面接とする。
 - イ 総合問題は、与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等を見るものとする。
 - ウ 作文は、与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力を見るものとする。
 - エ 面接は、志願理由書を参考資料として、志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみるものとする。

Ⅱ 入学者選抜概要

〔１〕 募集

１ 出願資格

次の(1)及び(2)に該当する者が、宮城県立中学校（以下「県立中学校」という。）の入学者選抜に出願することができる。

- (1) 小学校又は特別支援学校の小学部（以下「小学校」という。）を平成２７年３月に卒業見込みの者
- (2) 宮城県内に居住し、又は入学時までに居住する見込みの者

- | | | |
|--------|------------|----------|
| ２ 募集定員 | 宮城県仙台二華中学校 | １０５名（男女） |
| | 宮城県古川黎明中学校 | １０５名（男女） |

- | | |
|--------|-------|
| ３ 通学区域 | 宮城県全域 |
|--------|-------|

〔２〕 出願の手続

１ 出願

県立中学校への出願は、１校に限る。

なお、仙台市立仙台青陵中等教育学校へ出願する者は、県立中学校に出願できない。

２ 入学願書等の提出

出願者は、入学願書、志願理由書、調査書（在籍小学校長が作成）、写真票、受検票送付用封筒及び結果通知用封筒を入学を希望する県立中学校長に提出する。

また、入学願書には入学者選抜手数料として宮城県収入証紙（２,２００円）を貼付する。

３ 県外からの出願

県外に住所を有する者が、次の(1)又は(2)のいずれかに該当し、本県内の県立中学校に入学を希望する場合は、県外からの出願承認願を出願予定の県立中学校長に提出し、承認を受ける。承認を受けた後に、県立中学校に出願することができる。

- (1) 住所の異動によるもの

ア 保護者の転勤等に伴う一家転住の事情によって本県内に住所を異動せざるを得ない場合

イ その他特別な家庭の事情によって本県内に住所を異動せざるを得ない場合（例えば、保護者の海外勤務等に伴って、県内に居住する保護者に準ずる者に志願者の保護を託した場合等）

(2) その他

上記(1)のほか県外に住所を有する者が当該県立中学校に就学することが、特にやむを得ないと認められる場合

[3] 適性検査

1 検査場

検査場は、次のとおりとする。出願者が多い場合は、他の会場で実施することもある。

宮城県仙台二華中学校 —— 宮城県仙台二華中学校・高等学校

宮城県古川黎明中学校 —— 宮城県古川黎明中学校・高等学校

2 検査の方法

(1) 検査は、総合問題（60分）、作文（40分）及び面接とする。

(2) 検査問題作成の方針

ア 総合問題は、与えられた課題を理解し、これまでの体験や身に付けてきた力を基に、論理的に考え、的確に判断し、解決する力や表現する力等をみる。

イ 作文は、与えられた課題について、自分の考えや思いなどを的確にまとめ、文章で表現する力をみる。

ウ 面接は、志願理由書を参考資料として、志願の動機や学習への関心・意欲、長所等を多面的にみる。

[4] 選抜方法

入学者の選抜に当たっては、調査書及び適性検査（総合問題、作文、面接）の結果を資料として、出願者の能力や適性等を総合的に判断する。

[5] 選抜に関する日程

事項	期日	備考
県外からの出願承認願の受付	平成26年11月4日(火)～ 平成26年11月28日(金)午後3時	受付時間は、午前9時から午後4時（最終日は午後3時）までとする。ただし、土曜日、日曜日、祝日を除く。郵送する場合であっても、最終日午後3時必着とする。
入学願書、調査書等の受付	平成26年12月1日(月)～ 平成26年12月5日(金)午後3時	受付時間は、午前9時から午後4時（最終日は午後3時）までとする。
適性検査	平成27年1月10日(土)	総合問題（60分）、作文（40分）及び面接とする。
選抜結果通知書の発送	平成27年1月16日(金)午後4時	本人及び在籍小学校長へ郵送する。
入学確約書の受付	平成27年1月20日(火)～ 平成27年1月23日(金)午後3時	受付時間は、午前9時から午後4時（最終日は午後3時）までとする。郵送の場合、簡易書留扱いで期間内必着とする。
欠員補充による合格者の意思確認	平成27年1月26日(月)～ 平成27年2月6日(金)	欠員が生じた場合、あらかじめ定めた補欠予定者の中から充てる。

平成26年3月高等学校卒業者の就職内定状況（5月末現在）について

	H25.9月末	H25.10末	H25.11末	H25.12末	H26.1末	H26.2末	H26.3末	H26.4末	H26.5末	前年同月	増減 (当月－前年同)
内定率	37.3%	62.6%	78.9%	87.2%	91.7%	95.9%	98.6%	99.1%	99.1%	99.3%	-0.2%
男子	39.3%	65.5%	80.9%	88.2%	93.1%	96.7%	98.9%	99.1%	99.2%	99.6%	-0.4%
女子	34.5%	58.8%	76.3%	85.8%	89.7%	95.0%	98.2%	99.0%	99.1%	98.9%	0.2%
全国平均	—	64.1%	—	85.3%	—	—	96.6%	—	—	—	

内訳

卒業者	19,957	19,970	19,950	19,945	19,924	19,898	19,869	19,868	19,868	20,459	-591	
進学希望者	14,706	14,833	14,859	14,875	14,850	14,804	14,786	14,772	14,771	15,368	-597	
臨時的仕事希望者	70	86	96	106	148	195	241	259	261	249	12	
進路未定者	130	116	113	109	104	86	61	55	51	64	-13	
就職希望者	5,051	4,935	4,882	4,855	4,822	4,813	4,781	4,782	4,785	4,778	7	
内訳	県内	4,298	4,207	4,174	4,155	4,120	4,100	4,069	4,072	4,076	4,029	47
	県外	753	728	708	700	702	713	712	710	709	749	-40
	職安・学校紹介	4,163	4,134	4,147	4,140	4,095	4,070	4,041	4,039	4,039	4,090	-51
	縁故・自営	230	255	277	298	334	350	371	375	377	344	33
公務員	658	546	458	417	393	393	369	368	369	344	25	
就職内定者	1,882	3,089	3,853	4,234	4,420	4,618	4,713	4,737	4,744	4,744	0	
内訳	県内	1,469	2,531	3,234	3,581	3,745	3,919	4,006	4,030	4,036	3,996	40
	県外	413	558	619	653	675	699	707	707	708	748	-40
	職安・学校紹介	1,820	2,873	3,436	3,718	3,821	3,950	3,996	4,013	4,014	4,061	-47
	縁故・自営	62	100	134	195	262	313	352	359	363	339	24
公務員	0	116	283	321	337	355	365	365	367	344	23	
就職未内定者	3,169	1,846	1,029	621	402	195	70	45	41	34	7	
月間受験者数	3,949	1,014	800	348	162	187	86	60	52	12	40	

【概況】※()内は前年同月

- ① 就職内定率：99.1% (99.3%)
- ② 進路希望の割合状況：進学 74.3% (75.1%) 就職 24.1% (23.4%)
：臨時的仕事 1.3% (1.2%) 未定 0.3% (0.3%)
- ③ 就職希望者の割合：県内 85.2% (84.3%) 県外 14.8% (15.7%)
- ④ 県内外の内定率：県内 99.0% (99.2%) 県外 99.9% (99.9%)
- ⑤ 内定者の割合：県内 85.1% (84.2%) 県外 14.9% (15.8%)
- ⑥ 学科別内定率

学科別内定率	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他	総合学科
平成25年度	98.6%	100.0%	99.9%	99.9%	100.0%	93.9%	100.0%	98.6%
平成24年度	98.6%	99.3%	99.9%	99.8%	100.0%	99.0%	95.5%	100.0%

⑦ 地域別内定状況

地域別内定率	白石	大河原	仙台	大和	塩釜	大崎	石巻	築館	迫	気仙沼
平成25年度	99.5%	97.8%	98.8%	100.0%	98.6%	99.7%	99.5%	98.9%	100.0%	100.0%
平成24年度	98.7%	99.5%	99.2%	100.0%	98.2%	99.2%	99.4%	100.0%	99.5%	100.0%

⑧ 県内求人倍率

宮城労働局発表 県内求人倍率（4月末現在）（職安学校紹介のみ、ただし支援学校・通信制含む）

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
県内求人数	4,238	5,473	7,000	7,977
県内求職者数	3,366	3,071	3,530	3,539
求人倍率	1.26	1.78	1.98	2.25

公立学校施設の耐震改修状況調査の結果について

1 校舎等の耐震対策の実施状況

(1) 非木造（対象施設：2階建て以上又は延べ床面積200㎡超の建物）

学校区分		耐震化率		
		平成24年4月1日	平成25年4月1日	平成26年4月1日
小中学校 2,282棟	県平均	98.0%	98.7%	99.1%
	全国平均	84.8%	88.9%	92.5%
高等学校 596棟	県平均	92.6%	92.6%	94.6%
	全国平均	82.4%	86.2%	90.0%
特別支援学校 101棟	県平均	100.0%	100.0%	100.0%
	全国平均	92.9%	94.6%	96.5%
幼稚園 55棟	県平均	88.7%	92.5%	94.5%
	全国平均	75.1%	79.4%	83.6%

(2) 木造（対象施設：3階建て以上又は延べ床面積200㎡超の建物）

学校区分		耐震化率		
		平成24年4月1日	平成25年4月1日	平成26年4月1日
小中学校 10棟	県平均	83.3%	83.3%	90.0%
	全国平均	78.8%	82.3%	85.9%
高等学校 0棟	県平均	—	—	—
	全国平均	66.4%	70.4%	75.0%
特別支援学校 0棟	県平均	—	—	—
	全国平均	93.1%	94.8%	96.9%
幼稚園 26棟	県平均	100.0%	100.0%	100.0%
	全国平均	83.5%	85.0%	88.3%

※ 耐震化率 = (昭和57年以降建築の棟数(耐震性がある棟数) + 昭和56年以前建築で耐震性がある棟数(耐震補強済み含む)) ÷ 全棟数

※ 学校区分内の表示棟数は、校舎等施設の全棟数

2 非構造部材の耐震点検・耐震対策の実施状況

(1) 屋内運動場等(※)における非構造部材の設置状況と耐震点検・耐震対策実施率

(※)屋体・武道場・講堂・屋内プールで高さが6m超の天井または水平投影面積200㎡超の天井

(平成26年4月1日現在, 棟単位)

学校区分			吊り天井を有する棟数				吊り天井を有しない棟数		
			設置数	設置率	対策済数	点検・対策実施率(A)	棟数	対策済数	点検・対策実施率(B)
小中学校	宮城県	683棟	62棟	9.1%	2棟	3.2%	621棟	92棟	14.8%
	全国	33,703棟	6,422棟	19.1%	200棟	3.1%	27,281棟	8,201棟	30.1%
高等学校	宮城県	187棟	47棟	25.1%	0棟	0.0%	140棟	124棟	88.6%
	全国	8,491棟	1,966棟	23.2%	56棟	2.8%	6,525棟	3,322棟	50.9%
特別支援学校	宮城県	27棟	1棟	3.7%	0棟	0.0%	26棟	25棟	96.2%
	全国	1,094棟	224棟	20.5%	5棟	2.2%	870棟	383棟	44.0%
幼稚園	宮城県	7棟	1棟	14.3%	1棟	100.0%	6棟	2棟	33.3%
	全国	219棟	55棟	25.1%	2棟	3.6%	164棟	75棟	45.7%

※ 耐震点検・耐震対策実施率 = 耐震対策実施済み又は耐震点検の結果対策の必要がない棟数 ÷ 屋内運動場等全棟数

▶点検・対策実施率(A): 吊り天井, 照明, バスケットゴールの落下防止対策

▶点検・対策実施率(B): 照明, バスケットゴールの落下防止対策

※ 用語の説明

構造体・・・建物本体

非構造部材・・・天井材や外壁, 照明器具, 窓ガラス, 家具など, 構造体と区分した部材

屋内運動場等・・・屋内運動場, 武道場, 講堂, 屋内プール

(2) (1) 以外の耐震点検・耐震対策実施率(平成26年4月1日現在, 学校単位)

学校区分		校舎等(屋内運動場等を除く)	
		平成25年4月1日	平成26年4月1日
小中学校 587校	県平均	34.3%	50.3%
	全国平均	60.2%	58.6%
高等学校 80校	県平均	92.1%	98.8%
	全国平均	77.8%	70.4%
特別支援学校 22校	県平均	94.7%	100.0%
	全国平均	78.9%	75.4%
幼稚園 87園	県平均	62.5%	39.1%
	全国平均	53.2%	53.4%

※耐震点検・耐震対策実施率 = 耐震対策実施済み又は耐震点検の結果対策の必要がない棟数 ÷ 全学校数

耐震改修状況（構造体）

1 非木造施設

(1) 市町村立小中学校施設

耐震化率 100%

平成26年4月1日現在

設置者名	全棟数 A=B+C	S57年以降 建築の棟数 B	S56年以前 建築の棟数 C=D+E	耐震性がある 棟数 (補強済み含む) D	耐震性がない 棟数 E=C-D	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 F	左記のうち、 Is値0.3未満 の棟数 G	第二次診断等 未実施棟数 H=E-F	第二次診断等 実施率 I=(D+F)/C	耐震化率		26年度中 に耐震化 が見込ま れる棟数 K	H26年度 末耐震化 率見込 L=(B+D+K)/A
										J=(B+D)/A	()		
仙台市	1,090	602	488	488	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
石巻市	138	65	73	61	12	12	0	0	100.0%	91.3%	(88.6%)	11	99.3%
塩竈市	63	21	42	42	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
気仙沼市	91	54	37	36	1	1		0	100.0%	98.9%	(91.4%)	0	98.9%
白石市	36	22	14	14	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
名取市	57	32	25	25	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
角田市	32	14	18	18	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
多賀城市	45	24	21	21	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
岩沼市	32	19	13	13	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
登米市	107	40	67	67	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
栗原市	58	37	21	21	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
東松島市	36	18	18	18	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(93.9%)	0	100.0%
大崎市	127	72	55	50	5	0	0	5	90.9%	96.1%	(99.1%)	3	98.4%
蔵王町	10	2	8	8	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
七ヶ宿町	4		4	4	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大河原町	15	6	9	9	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
村田町	10	7	3	3	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
柴田町	34	22	12	12	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
川崎町	6	4	2	2	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
丸森町	18	8	10	10	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
亘理町	21	10	11	11	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
山元町	18	12	6	6	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
松島町	14	8	6	6	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
七ヶ浜町	13	8	5	5	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
利府町	35	30	5	5	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大和町	28	17	11	11	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大郷町	5	4	1	1	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
富谷町	35	27	8	8	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大衡村	7	2	5	5	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
色麻町	3	1	2	2	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
加美町	21	13	8	8	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
涌谷町	21	4	17	15	2	2	0	0	100.0%	90.5%	(85.7%)	0	90.5%
美里町	28	16	12	12	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
女川町	10	4	6	6	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
南三陸町	14	8	6	6	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
合計	2,282	1,233	1,049	1,029	20	15	0	5	99.5%	99.1%	(98.7%)	14	99.7%

(2) 県立・市立高等学校施設

耐震化率 100%

平成26年4月1日現在

設置者名	全棟数 A=B+C	S57年以降 建築の棟数 B	S56年以前 建築の棟数 C=D+E	耐震性がある 棟数 (補強済み含む) D	耐震性がない 棟数 E=C-D	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 F	左記のうち、 Is値0.3未満 の棟数 G	第二次診断等 未実施棟数 H=E-F	第二次診断等 実施率 I=(D+F)/C	耐震化率		26年度中 に耐震化 が見込ま れる棟数 K	H26年度 未耐震化 率見込 L=(B+D+K)/A
										J=(B+D)/A	(%)		
仙台市	40	34	6	6	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
石巻市	4	2	2	0	2	2	0	0	100.0%	50.0%	(50.0%)	2	100.0%
宮城県	552	273	279	249	30	0	0	30	89.2%	94.6%	(92.4%)	0	94.6%
合計	596	309	287	255	32	2	0	30	89.5%	94.6%	(92.6%)	2	95.0%

※仙台市（中等教育学校1校含む）

(3) 県立・市立特別支援学校施設

耐震化率 100%

平成26年4月1日現在

設置者名	全棟数 A=B+C	S57年以降 建築の棟数 B	S56年以前 建築の棟数 C=D+E	耐震性がある 棟数 (補強済み含む) D	耐震性がない 棟数 E=C-D	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 F	左記のうち、 Is値0.3未満 の棟数 G	第二次診断等 未実施棟数 H=E-F	第二次診断等 実施率 I=(D+F)/C	耐震化率		26年度中 に耐震化 が見込ま れる棟数 K	H26年度 未耐震化 率見込 L=(B+D+K)/A
										J=(B+D)/A	(%)		
仙台市	8	5	3	3	0			0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
宮城県	93	66	27	27	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
合計	101	71	30	30	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%

(4) 市町村立幼稚園施設

耐震化率 100%

平成26年4月1日現在

設置者名	全棟数 A=B+C	S57年以降 建築の棟数 B	S56年以前 建築の棟数 C=D+E	耐震性がある 棟数 (補強済み含む) D	耐震性がない 棟数 E=C-D	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 F	左記のうち、 Is値0.3未満 の棟数 G	第二次診断等 未実施棟数 H=E-F	第二次診断等 実施率 I=(D+F)/C	耐震化率		26年度中 に耐震化 が見込ま れる棟数 K	H26年度 未耐震化 率見込 L=(B+D+K)/A
										J=(B+D)/A	(%)		
仙台市	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
石巻市	2	0	2	1	1	1	0	0	100.0%	50.0%	(50.0%)	1	100.0%
気仙沼市	2	2	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
白石市	2	0	2	2	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
名取市	2	2	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
登米市	14	10	4	4	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
栗原市	7	7	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
東松島市	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大崎市	10	6	4	2	2	0	0	2	50.0%	80.0%	(80.0%)	0	80.0%
蔵王町	2	2	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
村田町	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大郷町	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
富谷町	2	2	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
色麻町	1	0	1	1	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
加美町	2	2	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
涌谷町	2	0	2	2	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(0.0%)	0	100.0%
美里町	3	3	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
合計	55	40	15	12	3	1	0	2	86.7%	94.5%	(92.5%)	1	96.4%

2 木造施設

(1) 市町村立小中学校施設

耐震化率 100%

平成26年4月1日現在

設置者名	全棟数 A'=B'+C'	S57年以降 建築の棟数 B'	S56年以前 建築の棟数 C'=D'+E'	耐震性がある 棟数 (補強済み含 む) D'	耐震性がない 棟数 E'=C'-D'	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 (※1) F'	左記のうち、 lw値0.7未満 の棟数 G'	第二次診断等 未実施棟数 (※2) H'=E'-F'	第二次診断等 実施率 I'=(D'+F')/C'	耐震化率		26年度中 に耐震化 が見込ま れる棟数 K'	H26年度末耐震化率見 込 L'=(B'+D'+K')/A'
										J'=(B'+D')/A'	()		
仙台市	3	0	3	3	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
気仙沼市	3	2	1	0	1	0	0	1	0.0%	66.7%	(66.7%)	0	66.7%
岩沼市	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
登米市	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
七ヶ浜町	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
加美町	1	0	1	1	0	0	0	0	100.0%	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
合計	10	5	5	4	1	0	0	1	80.0%	90.0%	(83.3%)	0	90.0%

(2) 幼稚園施設

耐震化率 100%

平成26年4月1日現在

設置者名	全棟数 A'=B'+C'	S57年以降 建築の棟数 B'	S56年以前 建築の棟数 C'=D'+E'	耐震性がある 棟数 (補強済み含 む) D'	耐震性がない 棟数 E'=C'-D'	耐震性がない 建物の中で、 第二次診断等 実施済棟数 (※1) F'	左記のうち、 lw値0.7未満 の棟数 G'	第二次診断等 未実施棟数 (※2) H'=E'-F'	第二次診断等 実施率 I'=(D'+F')/C'	耐震化率		26年度中 に耐震化 が見込ま れる棟数 K'	H26年度末耐震化率見 込 L'=(B'+D'+K')/A'
										J'=(B'+D')/A'	()		
石巻市	5	5	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
気仙沼市	1	1			0			0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
登米市	1	1	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
栗原市	8	8			0			0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
大崎市	4	4	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
蔵王町	1	1			0			0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
川崎町	2	2			0			0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
加美町	2	2	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
涌谷町	2	2	0	0	0			0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%
合計	26	26	0	0	0	0	0	0	#DIV/0!	100.0%	(100.0%)	0	100.0%

非構造部材の耐震点検・耐震対策状況調査結果

1 屋内運動場等における吊り天井の設置状況及び点検・対策実施率（棟単位）

(1) 小中学校施設

平成26年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井 (棟単位)										
	屋内運動場等の全棟数	吊り天井を有する棟数	(割合)	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※1)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	吊り天井を有していない棟数(H25年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)	総点検を実施した棟数	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※1)	うち、H25年度に吊り天井を撤去で対策した棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)
仙台市	248	10	4.0%	10	0	10	238	238	8	0	230
石巻市	42	15	35.7%	15	0	15	27	27	0	0	27
塩竈市	13	1	7.7%	1	0	1	12	12	2	2	10
気仙沼市	31	0	0.0%	0	0	0	31	0	0	0	31
白石市	16	1	6.3%	1	0	1	15	15	0	0	15
名取市	15	0	0.0%	0	0	0	15	15	0	0	15
角田市	14	0	0.0%	0	0	0	14	0	0	0	14
多賀城市	14	2	14.3%	1	1	1	12	0	0	0	12
岩沼市	8	1	12.5%	0	0	1	7	0	0	0	7
登米市	38	0	0.0%	0	0	0	38	38	0	0	38
栗原市	24	1	4.2%	1	0	1	23	23	23	0	0
東松島市	14	9	64.3%	1	1	8	5	0	0	0	5
大崎市	51	5	9.8%	0	0	5	46	0	0	0	46
蔵王町	8	0	0.0%	0	0	0	8	0	0	0	8
七ヶ宿町	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0	0	0
大河原町	5	0	0.0%	0	0	0	5	5	1	0	4
村田町	6	0	0.0%	0	0	0	6	6	6	0	0
柴田町	12	1	8.3%	0	0	1	11	0	0	0	11
川崎町	1	1	100.0%	0	0	1	0	0	0	0	0
丸森町	9	0	0.0%	0	0	0	9	9	9	0	0
亘理町	8	0	0.0%	0	0	0	8	8	7	0	1
山元町	5	0	0.0%	0	0	0	5	5	5	0	0
松島町	4	0	0.0%	0	0	0	4	4	4	0	0
七ヶ浜町	10	1	10.0%	1	0	1	9	9	0	0	9
利府町	9	2	22.2%	0	0	2	7	0	0	0	7
大和町	11	0	0.0%	0	0	0	11	0	0	0	11
大郷町	2	0	0.0%	0	0	0	2	0	0	0	2
富谷町	12	0	0.0%	0	0	0	12	12	12	0	0
大衡村	7	0	0.0%	0	0	0	7	0	0	0	7
色麻町	2	1	50.0%	0	0	1	1	1	1	0	0
加美町	15	3	20.0%	0	0	3	12	0	0	0	12
涌谷町	8	1	12.5%	1	0	1	7	7	7	0	0
美里町	11	4	36.4%	4	0	4	7	7	7	0	0
女川町	2	0	0.0%	0	0	0	2	0	0	0	2
南三陸町	8	3	37.5%	2	0	3	5	0	0	0	5
合計	683	62	9.1%	38	2	60	621	441	92	2	529

※1 「落下防止対策実施済み」とは、吊り天井・照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策（吊り天井については、国土交通省が平成25年8月に公布された技術基準を満たす対策。撤去を除く。）を実施した又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数。

※2 「照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み」とは、照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策を実施済みの棟数又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数

1 屋内運動場等における吊り天井の設置状況等

(2) 高等学校施設

平成26年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井 (棟単位)										
	屋内運動場等の全棟数	吊り天井を有する棟数	(割合)	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	吊り天井を有していない棟数(H25年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)	総点検を実施した棟数	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※5)	うち、H25年度に吊り天井を撤去で対策した棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)
宮城県	176	45	25.6%	45	0	45	131	131	124	0	7
仙台市	11	2	18.2%	2	0	2	9	9	0	0	9
石巻市	0	0	#DIV/0!	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	187	47	25.1%	47	0	47	140	140	124	0	16

(3) 特別支援学校施設

平成26年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井 (棟単位)										
	屋内運動場等の全棟数	吊り天井を有する棟数	(割合)	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	吊り天井を有していない棟数(H25年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)	総点検を実施した棟数	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※5)	うち、H25年度に吊り天井を撤去で対策した棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)
宮城県	26	1	3.8%	1	0	1	25	25	25	0	0
仙台市	1	0	0.0%	0	0	1	1	1	0	0	1
合計	27	1	3.7%	1	0	2	26	26	25	0	1

(4) 幼稚園施設

平成26年4月1日現在

設置者名	屋内運動場等(屋体・武道場・講堂・屋内プール)で下記のいずれかに該当するものの落下防止対策(※) ※高さが6mを超える天井または、水平投影面積が200㎡を超える天井 (棟単位)										
	屋内運動場等の全棟数	吊り天井を有する棟数	(割合)	総点検を実施した棟数	吊り天井・照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※4)	対策未実施の棟数(一部未実施含む)	吊り天井を有していない棟数(H25年度に吊り天井を撤去した棟数を含む)	総点検を実施した棟数	照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済み棟数(※5)	うち、H25年度に吊り天井を撤去で対策した棟数	対策未実施の棟数(一部未実施含む)
気仙沼市	3	1	33.3%	1	1	0	2	0	0	0	2
大郷町	1	0	0.0%	0	0	0	1	0	0	0	1
富谷町	2	0	0.0%	0	0	0	2	2	2	0	0
色麻町	1	0	0.0%	0	0	0	1	0	0	0	1
合計	7	1	14.3%	1	1	0	6	2	2	0	4

2 1以外の非構造部材の点検・対策実施率（学校単位）

(1) 小中学校施設

平成26年4月1日現在

設置者名	1以外の非構造部材の耐震対策(学校単位)					
	※1の調査対象を除いた全ての非構造部材のうち、「人に重大な被害を与える恐れがある」と学校設置者が判断する箇所が調査対象。					
	全学校数	耐震点検状況			耐震対策状況	
		耐震点検実施校	うち、学校設置者による点検実施校	耐震点検実施率	耐震対策実施済み又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた学校数	耐震対策実施率
A	B	C	D=B/A	E	F=E/A	
仙台市	191	191	191	100.0%	191	100.0%
石巻市	49	0	0	0.0%	0	0.0%
塩竈市	12	12	12	100.0%	12	100.0%
気仙沼市	31	31		100.0%	0	0.0%
白石市	16	16	16	100.0%	0	0.0%
名取市	15	15	15	100.0%	0	0.0%
角田市	11	0	0	0.0%	0	0.0%
多賀城市	10	10	10	100.0%	10	100.0%
岩沼市	8	8	0	100.0%	0	0.0%
登米市	32	2	0	6.3%	0	0.0%
栗原市	22	22	22	100.0%	22	100.0%
東松島市	12	12	12	100.0%	12	100.0%
大崎市	41	0	0	0.0%	0	0.0%
蔵王町	8	0	0	0.0%	0	0.0%
七ヶ宿町	3	3		100.0%	3	100.0%
大河原町	5	5	4	100.0%	1	20.0%
村田町	4	4	4	100.0%	4	100.0%
柴田町	9	9	9	100.0%	0	0.0%
川崎町	6	6	6	100.0%	6	100.0%
丸森町	9	0	0	0.0%	0	0.0%
亘理町	8	8	8	100.0%	0	0.0%
山元町	5	5	0	100.0%	3	60.0%
松島町	4	4	4	100.0%	4	100.0%
七ヶ浜町	5	5		100.0%	0	0.0%
利府町	9	0	0	0.0%	0	0.0%
大和町	9	0	0	0.0%	0	0.0%
大郷町	2	0	0	0.0%	0	0.0%
富谷町	12	12	12	100.0%	12	100.0%
大衡村	2	0	0	0.0%	0	0.0%
色麻町	2		0	0.0%	0	0.0%
加美町	12	0	0	0.0%	0	0.0%
涌谷町	6	6	6	100.0%	6	100.0%
美里町	9	9	9	100.0%	9	100.0%
女川町	2	0	0	0.0%	0	0.0%
南三陸町	6	6		100.0%	0	0.0%
合計	587	401	340	68.3%	295	50.3%

※1 「落下防止対策実施済み」とは、吊り天井・照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策（吊り天井については、国土交通省が平成25年8月に公布された技術基準を満たす対策。撤去を除く。）を実施した又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数。

※2 「照明・バスケットゴールの全ての落下防止対策実施済」とは、照明器具・バスケットゴールの全てに対して、補強・再設置などの対策を実施済の棟数又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた棟数

(2) 高等学校施設

平成26年4月1日現在

設置者名	1以外の非構造部材の耐震対策(学校単位) ※1の調査対象を除いた全ての非構造部材のうち、「人に重大な被害を与える恐れがある」と学校設置者が判断する箇所が調査対象。					
	全学校数 A	耐震点検状況			耐震対策状況	
		耐震点検実施校 B	うち、学校設置者による点検実施校 C	耐震点検実施率 D=B/A	耐震対策実施済み又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた学校数 E	耐震対策実施率 F=E/A
宮城県	74	74	74	100.0%	74	100.0%
仙台市	5	5	5	100.0%	5	100.0%
石巻市	1	0	0	0.0%	0	0.0%
合計	80	79	79	98.8%	79	98.8%

(3) 特別支援学校施設

平成26年4月1日現在

設置者名	1以外の非構造部材の耐震対策(学校単位) ※1の調査対象を除いた全ての非構造部材のうち、「人に重大な被害を与える恐れがある」と学校設置者が判断する箇所が調査対象。					
	全学校数 A	耐震点検状況			耐震対策状況	
		耐震点検実施校 B	うち、学校設置者による点検実施校 C	耐震点検実施率 D=B/A	耐震対策実施済み又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた学校数 E	耐震対策実施率 F=E/A
宮城県	21	21	21	100.0%	21	100.0%
仙台市	1	1	1	100.0%	1	100.0%
合計	22	22	22	100.0%	22	100.0%

(4) 幼稚園施設

平成26年4月1日現在

設置者名	1以外の非構造部材の耐震対策(学校単位) ※1の調査対象を除いた全ての非構造部材のうち、「人に重大な被害を与える恐れがある」と学校設置者が判断する箇所が調査対象。					
	全学校数 A	耐震点検状況			耐震対策状況	
		耐震点検実施校 B	うち、学校設置者による点検実施校 C	耐震点検実施率 D=B/A	耐震対策実施済み又は耐震点検の結果、すでに対策が実施されていた学校数 E	耐震対策実施率 F=E/A
仙台市	1	1	1	100.0%	1	100.0%
石巻市	4	0	0	0.0%	0	0.0%
気仙沼市	6	6	0	100.0%	0	0.0%
白石市	2	2	2	100.0%	2	100.0%
名取市	4	4	4	100.0%	0	0.0%
角田市	2	0	0	0.0%	0	0.0%
登米市	14	14	14	100.0%	0	0.0%
栗原市	15	15	15	100.0%	15	100.0%
東松島市	1	1	1	100.0%	1	100.0%
大崎市	13	0	0	0.0%	0	0.0%
蔵王町	3	0	0	0.0%	0	0.0%
村田町	1	1	1	100.0%	1	100.0%
柴田町	1	1	1	100.0%	0	0.0%
川崎町	2	2	2	100.0%	2	100.0%
松島町	3	3	3	100.0%	3	100.0%
大郷町	1	0	0	0.0%	0	0.0%
富谷町	2	2	2	100.0%	2	100.0%
色麻町	1	0	0	0.0%	0	0.0%
加美町	4	0	0	0.0%	0	0.0%
涌谷町	4	4	4	100.0%	4	100.0%
美里町	3	3	3	100.0%	3	100.0%
合計	87	59	53	67.8%	34	39.1%

教育庁関連情報一覧（平成26年5月14日～平成26年6月9日）

NO.	概 要
1	<p>○平成26年度宮城県仙台第三高等学校「理数科の日」を開催</p> <p>理数科に在籍する生徒が、理数科課題研究及び成果発表に取り組むことによって、論理的な思考力やプレゼンテーション能力、ディスカッション能力を高める発表会を開催した。</p> <p>【概要】</p> <p>開催日時 平成26年5月19日（月） 8：45～15：10</p> <p>会 場 宮城県仙台第三高等学校大講義室，書道室，美術室</p> <p>参加者 本校理数科生徒（1～3年生）239人及び理数科関係職員並びに大学関係者</p> <p>発表内容 数学領域（「クラインの壺と次元空間」他3題） 物理領域（「イオンクラフトの推進力向上」他4題） 化学領域（「ポリフェノールの働き」他5題） 生物領域（「宮城県内で採集したミカヅキモの単離と分離」他3題） 地学領域（「SEMによる緑青の結晶観察」1題） 情報領域（「カオス現象のコンピューターシミュレーション」他2題）</p> <p style="text-align: right;">（担当：高校教育課）</p>
2	<p>○バレーボールV・チャレンジリーグ 仙台ベルフィーユが新体制</p> <p>バレーボールV・チャレンジリーグに参戦している仙台ベルフィーユの新監督に就任した葛和氏や選手及び関係者が、5月26日（月）に2013/14シーズンの報告及び新シーズンに向けた体制報告のため県を表敬訪問した。</p> <p>【リーグ概要】</p> <p>Vチャレンジリーグ 13/14 シーズン 6位（参加10チーム） 14/15 シーズン 平成26年11月～平成27年3月（予定）</p> <p style="text-align: right;">（担当：スポーツ健康課）</p>



NO.	概 要
3	<p>○第24回全国産業教育フェア宮城大会第1回生徒実行委員会を開催</p> <p>専門高校等における日頃の学習成果を広く紹介し、魅力的な教育内容について理解・関心を高めるとともに、「富県宮城」、「観光王国みやぎ」、「食材王国みやぎ」に取り組む本県から、次代につながる新たな産業教育の在り方を発信する「第24回全国産業教育フェア宮城大会」の第1回生徒実行委員会が開催された。</p> <p>【概要】</p> <p>開催日時 平成26年5月30日（金） 10:00～16:00</p> <p>場 所 名取市文化会館 2階 中ホール</p> <p>内 容 開会式アトラクション「すずめ踊り」、閉会式合唱アトラクション「花は咲く」の練習</p> <p>【参考】</p> <p>大会名 第24回全国産業教育フェア宮城大会</p> <p>開催日 平成26年11月8日（土）・9日（日）</p> <p>会 場 まなウェルみやぎ・名取市文化会館・名取市民体育館・セキスイハイムスーパーアリーナ，仙台港</p> <p>内 容 各種イベント，作品・研究発表，意見・体験発表，作品展示・即売，ファッションショー，ロボット競技大会 フラワーアレンジメントコンテスト，他</p> <p style="text-align: right;">(担当：高校教育課)</p>
4	<p>○第63回 宮城県高等学校総合体育大会 開会式が開催</p> <p>この夏，南関東4県で開催される「煌めく青春 南関東総体2014」を目指して，第63回 宮城県高等学校総合体育大会 の開会式が行われた。</p> <p>【概要】</p> <p>開会式 平成26年5月30日（金）</p> <p>場 所 セキスイハイムスーパーアリーナ</p> <p>主会期 平成26年6月7日（土）～9日（月）（冬季スキー・スケート競技は別日程開催）</p> <p style="text-align: right;">(担当：スポーツ健康課)</p>



NO.	概 要
5	<p>○平成26年度宮城県柴田農林高等学校川崎校が「第2回 千年希望の丘 植樹祭」に参加</p> <p>公益法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」の主催する植樹祭に、柴田農林高等学校川崎校の生徒が、SPP（サイエンス・パートナーシップ・プログラム）講座として参加した。</p> <p>【概要】</p> <p>目的 防潮林を築くための植樹を通し、復興や科学の発展を担う意識を育てる。</p> <p>日時 平成26年5月31日（土） 10:30～13:00</p> <p>場所 岩沼市 千年希望の丘</p> <p>参加 本校生徒（1～3年生）48人及び関係職員、公益法人「瓦礫を活かす森の長城プロジェクト」職員</p> <p style="text-align: right;">(担当：高校教育課)</p>
6	<p>○第62回宮城県青年文化祭を開催</p> <p>地域と共に歩み、未来を切り拓く青年団活動を目指す「宮城県青年団連絡協議会」が主催する「第62回宮城県青年文化祭」を開催した。</p> <p>【概要】</p> <p>開催日時 平成26年6月1日（日） 10:00～17:00</p> <p>場所 大崎市岩出山文化会館（スコアレハウス）</p> <p>テーマ 「OUR DREAM !!～信じて進めばいいん伊つ達!!～」</p> <p>内容 合唱、郷土芸能（創作芸能）、神楽、和太鼓演奏、美術工芸・絵画・写真作品展示 団体活動紹介、来場者参加アトラクション 他</p> <p>※宮城県青年団連絡協議会は県内8団体、約550人で構成</p> <p style="text-align: right;">(担当：生涯学習課)</p>



NO.	概 要
7	<p>○日本プロサッカー選手会 ふれあい活動 in 宮城・仙台が開催</p> <p>東日本大震災復興支援を目的にチャリティーマッチやサッカー教室を開催している日本プロサッカー選手会の関係者が、6月6日（金）に活動報告のため県を表敬訪問した。</p> <p>【概要】</p> <p>名称 JPFA サッカースクール in 南三陸 日 時 平成26年6月7日（土） 10:00～12:00 会 場 南三陸町立伊里前小学校 内 容 サッカーを中心としたふれあい活動</p>  <p>会長 佐藤 寿人【サンフレッチェ広島】ほか (担当：スポーツ健康課)</p>
8	<p>○白石工業高等学校の生徒が製作した「イーゼル」を県に寄贈</p> <p>白石工業高等学校は、設備工業科3年生の生徒が製作した「イーゼル」2台を県（観光課）に寄贈した。そのうち1台は、現在、県庁1階玄関ホールで活用されている。同校では、これまでも白石蔵王駅に、椅子、テーブルをはじめ様々な作品を提供するなど、地域貢献に努めている。</p> <p>【概要】</p> <p>・テーマ：「イーゼル製作」 ・製作分野：課題研究授業「木工加工の基礎」、製作時間は3人で約6時間</p>  <p>(担当：高校教育課)</p>
9	<p>○仙台東高等学校2年生の須貝麻由さんが第8回津軽三味線日本一決定戦で優勝</p> <p>第8回津軽三味線日本一決定戦で過去最年少で優勝した仙台東高等学校2年生の須貝麻由さんが、その報告のため6月9日（月）に県教育委員会を表敬訪問した。</p> <p>【概要】</p> <p>大会名 第8回津軽三味線日本一決定戦 開催日 平成26年5月4日（日） 会 場 リンクステーションホール青森 内 容 各部門に分かれ、全国から約250人が参加。そのうち、日本一の部は最もレベルの高い部門で、「曲弾き演奏」と「唄づけ伴奏」により審査される、高校生が日本一となるのも初となる。</p>  <p>(担当：生涯学習課)</p>